

# 【幼保小連携通信】

保育課・学校教育課  
幼保小連携担当

# 夢に向かって挑戦する子ども

令和7年度

8月28日(木) No.6

## 横山小学校と連携園の保育参観・保育体験

横山小学校の先生方が、夏休み期間を利用して、連携園に保育参観・保育体験に行きました。

1年生の担任だけでなく、全教職員が保育体験を予定し、子どもたちが遊びから学ぶ様子、保育者の支援を参観・体験しました。事前に、幼保小連携担当が校内で「架け橋期とは」「横山小学校区でめざす子ども像」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等について伝達してから出かけました。担当者だけでなく、校内で共有することにより、幼児教育・保育への理解がさらに進みます。



小学校の先生と一緒にだんごづくり

別の場所では、掘った穴の中に水を流し入れて…

「一緒に持って。」と声をかけ、2人で運びます。

大きなたらいに水を集めたら、さらに友達が集まり…

保育体験の後の振り返り。「あのときのあの姿」と子どもの具体的な姿を語ることで、教育・保育へのさらなる理解につながります

小学校の先生方も、一緒に泥だんごを作ったり、水遊びをしたり…子どもたちとの時間を過ごしました。同じ場であっても、先生の近くで泥だんごを作る子ども、池を作り泥の感触を楽しむ子ども、掘った穴の中に水を入れ様子を見る子どもなど、子どもたちが諸感覚を存分に使って思い思いに遊ぶ中に、「学びの芽」がたくさんありました。

その後、園の先生と小学校の先生が振り返りを行っている場面も参観させていただきました。教育・保育を参観した後に、子どもの姿を基に、学びのつながりを確認したり、教育・保育の意図や環境構成の工夫について話したり、尋ねたりすることで、小学校の先生にとっても、園の先生にとっても、さらに互いの教育・保育への理解につながります。「やってみたい」「遊び込む」「夢中になる」「試行錯誤」「相談する・話し合う」「協働する」「達成感」等、一人一人を尊重する教育・保育、個に応じた支援は、幼児教育でも学校教育でも大切にしている共通項ですね。



【Point】年に2回の合同会議には、園長・校長・年長担任・1年担任・幼保小連携担当者が出席し、めざす子ども像や連携の方向性を共有

### 横山小学校区の組織的・計画的な幼保小連携予定

4月	6月	7月	9・10月	11月	2月
園の先生が1年生の授業参観	幼保小連携研修	・幼保小連携合同会議①(園長・校長・年長担任・1年担任・幼保小連携担当者) ・小学校の先生が園の保育体験	生活科 2年生と園児の交流	・生活科 1年生と園児の交流① ・架け橋期のカリキュラム作成会議(担当者・1年、年長担任等)	・生活科 1年生と園児の交流② ・幼保小連携合同会議②(園長・校長・年長担任・1年担任・幼保小連携担当者)

【連携校・連携園】 横山小学校 ・ 小町通みたけこども園・認定こども園すこやか ・ 横山台こども園 ・ よこやま幼稚園